

資料2-3

令和7年度 入札・契約、総合評価の実施方針(案) 〔コンサルタント業務等〕

令和6年度実施状況(参考データ)

令和7年3月11日



国土交通省 関東地方整備局

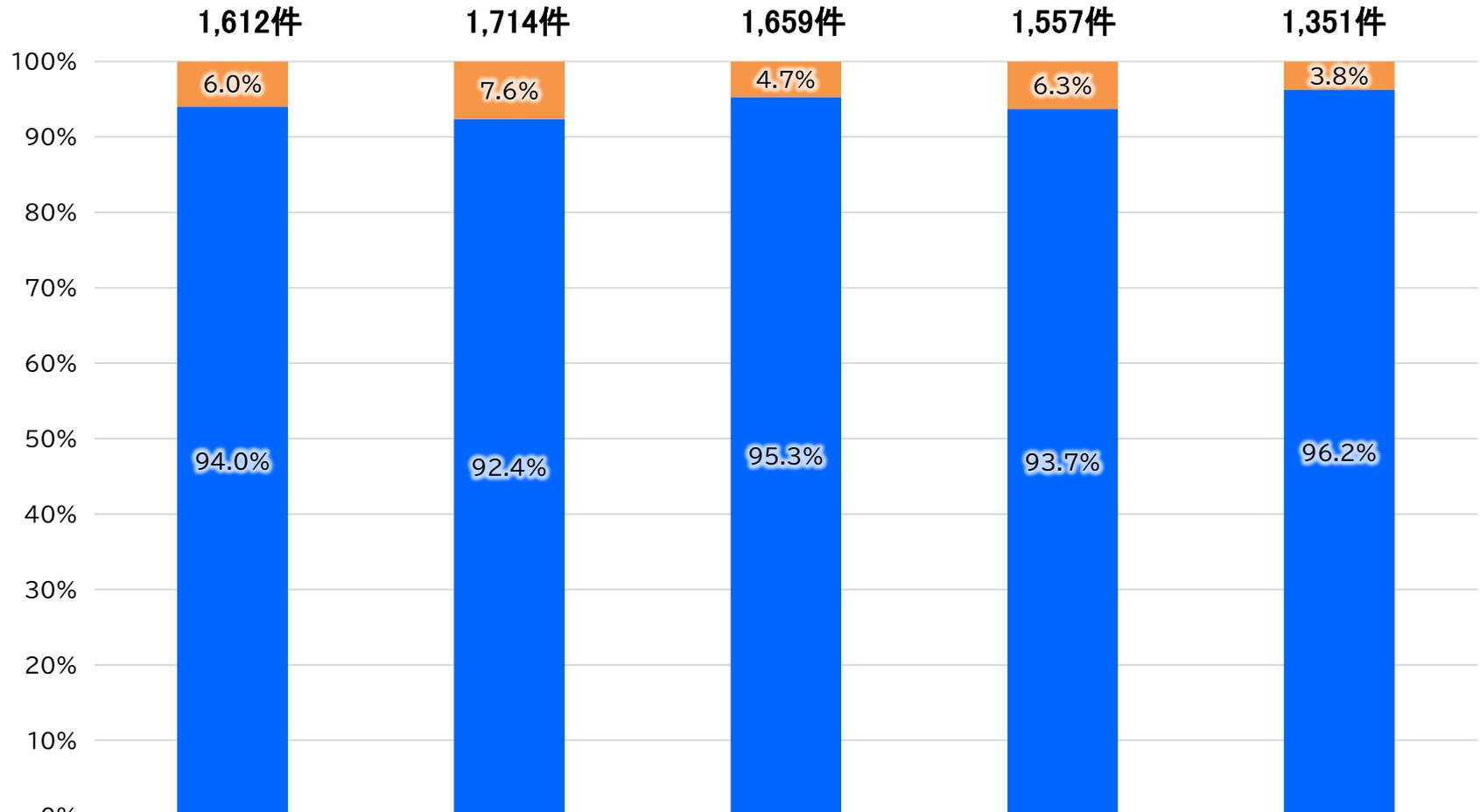
【目次】

1. 建設コンサルタント業務等の不調・不落発生状況…………… 2
2. 品質確保対策の実施状況…………… 6

1. ①建設コンサルタント業務等の不調・不落発生状況(5業種)

○不調・不落の発生件数については、概ね横ばいで推移。

(単位:パーセンテージ)



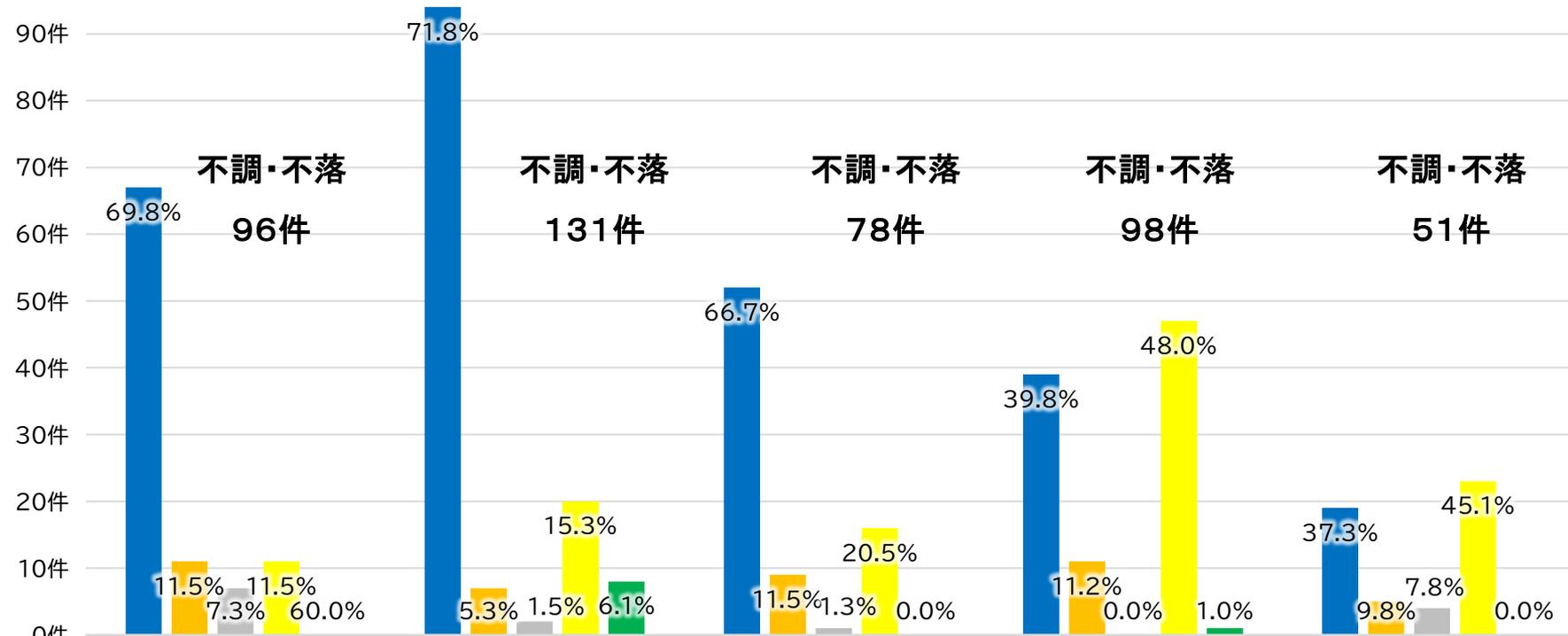
	R2	R3	R4	R5	R6
不調・不落発生件数	96件	131件	78件	98件	51件
契約件数	1516件	1583件	1581件	1459件	1300件

※予定価格100万円未満の少額随契及び単価契約を除く。港湾空港を除く。R2～R5年度は3月末時点。R6年度は、12月末時点

1. ②建設コンサルタント業務等の不調・不落発生状況(業種別)

○5業種区分(土木コンサル、測量、地質、建築コンサル、補償コンサル)のうち、令和4年度までは土木コンサルが約7割を占めてたが、令和5年度以降においては件数と割合共に減少傾向にある。

(単位:件)
100件



	R2	R3	R4	R5	R6
■土木コンサル	67件	94件	52件	39件	19件
■測量	11件	7件	9件	11件	5件
■地質	7件	2件	1件	0件	4件
■建築コンサル	11件	20件	16件	47件	23件
■補償コンサル	0件	8件	0件	1件	0件

■土木コンサル ■測量 ■地質 ■建築コンサル ■補償コンサル

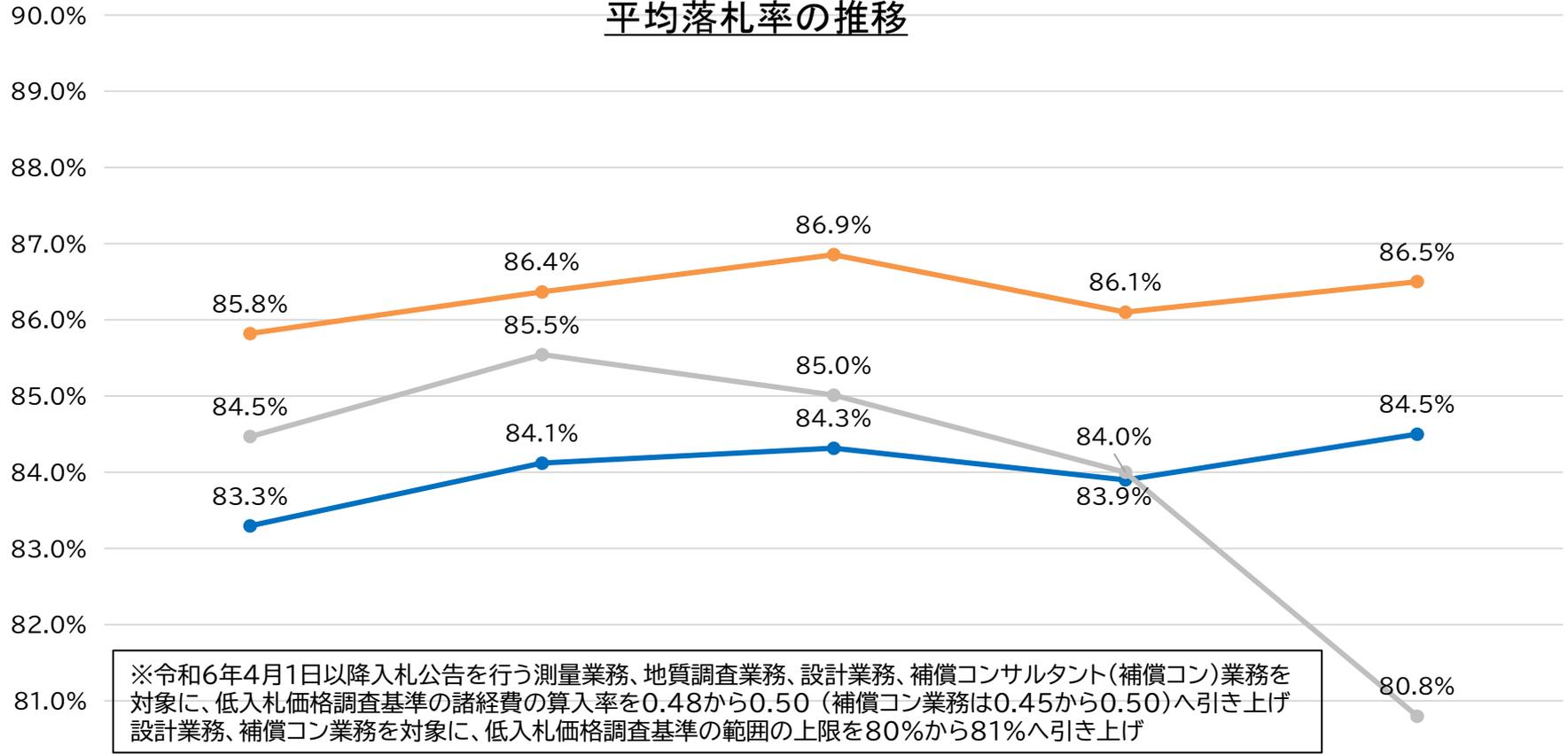
※予定価格100万円未満の少額随契及び単価契約を除く。港湾空港を除く。R2~R5年度は3月末時点。R6年度は、12月末時点

1. ③建設コンサルタント業務等(3業種)の落札率の状況

○土木コンサル、測量の平均落札率は、概ね横ばいだが、地質はR3から低下傾向にある。

(単位:パーセンテージ)

平均落札率の推移



※令和6年4月1日以降入札公告を行う測量業務、地質調査業務、設計業務、補償コンサルタント(補償コン)業務を対象に、低入札価格調査基準の諸経費の算入率を0.48から0.50(補償コン業務は0.45から0.50)へ引き上げ
設計業務、補償コン業務を対象に、低入札価格調査基準の範囲の上限を80%から81%へ引き上げ

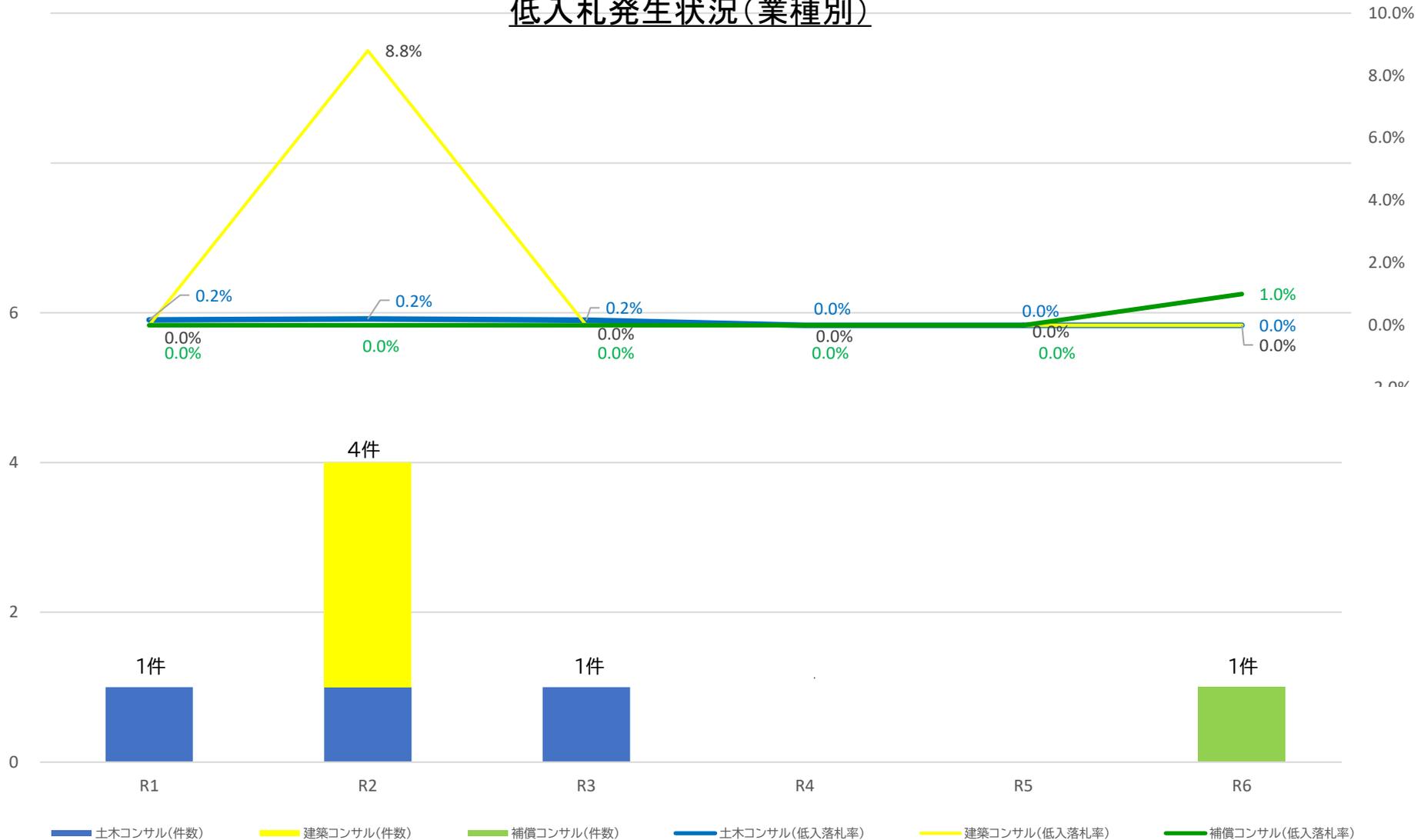
	R2	R3	R4	R5	R6
土木コンサル	83.3% (581件)	84.1% (616件)	84.3% (628件)	83.9% (579件)	84.5% (551件)
測量	85.8% (243件)	86.4% (214件)	86.9% (208件)	86.1% (193件)	86.5% (166件)
地質	84.5% (64件)	85.5% (67件)	85.0% (79件)	84.0% (45件)	80.8% (45件)

●土木コンサル ●測量 ●地質

1. ④建設コンサルタント業務等(5業種)の低入札状況

○低入落札は令和6年度に補償コン業務にて1件発生。

低入札発生状況(業種別)



※予定価格100万円を超える価格競争入札及び総合評価落札方式のみ(単価契約を除く)。港湾空港を除く。R1～R5年度は3月末時点。R6年度は、12月末時点

※低入落札件数: 予定価格1,000万円を超える業務については、調査基準価格を下回って契約した業務

100万円を超え1,000万円以下の業務については、予定価格の7/10を下回る、または品質確保基準価格を下回って契約した業務

2. ①令和6年度 落札者の価格・技術点順位の相関性(総合評価落札方式)

○総合評価落札方式 簡易型(1:1)

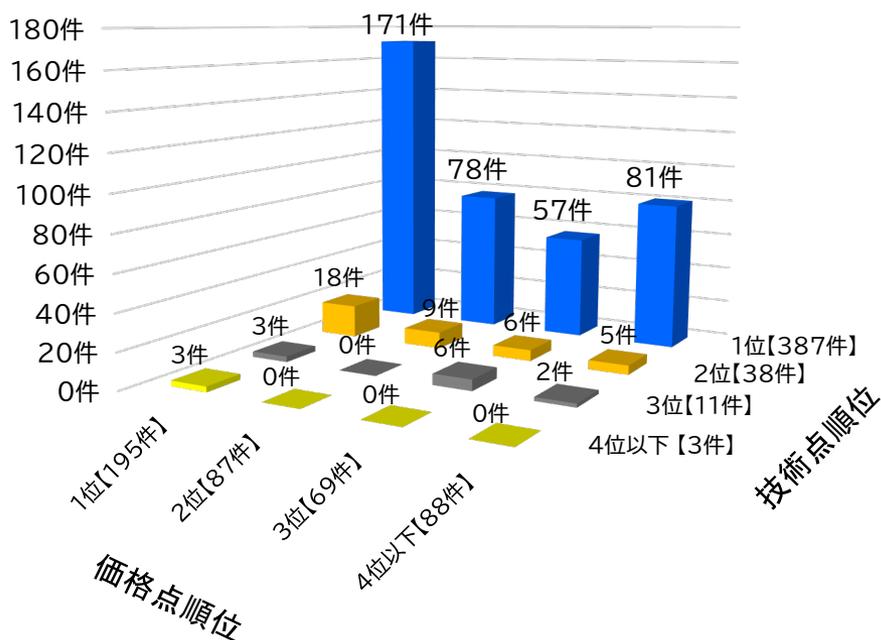
技術点1位の企業が落札者となる割合(約88%、387件/439件)は、価格点順位が1位の企業が落札者となる割合(約44%、195件/439件)を上回り、技術力を評価した落札結果となっている。

○総合評価落札方式 標準型(1:3)

技術点1位の企業が落札者となる割合(約93%、41件/44件)は、価格点順位が1位の企業が落札者となる割合(約30%、13件/44件)を上回り、技術力を評価した落札結果となっている。

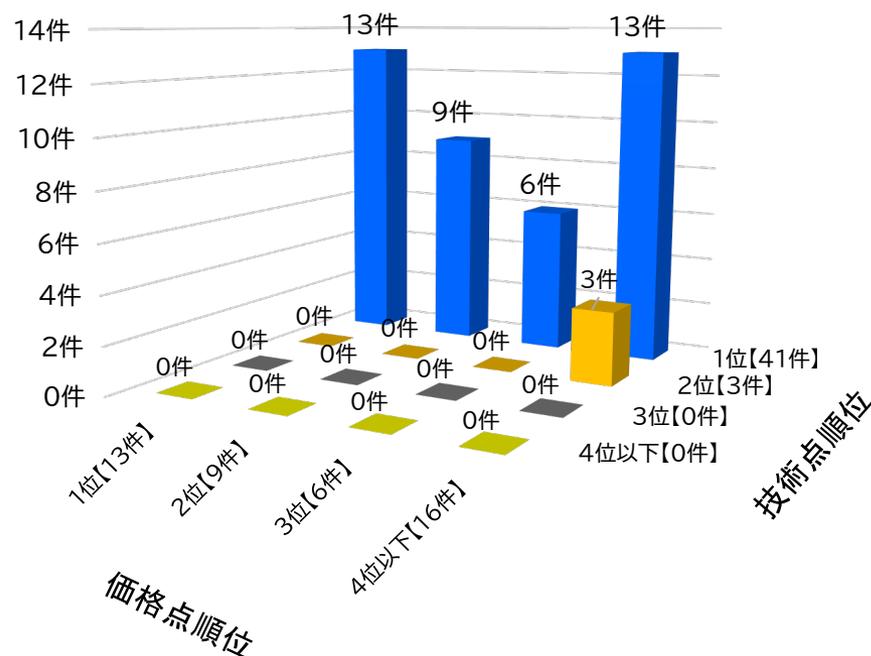
【簡易型(1:1)】 契約件数439件

(契約件数)



【標準型(1:3)】 契約件数44件

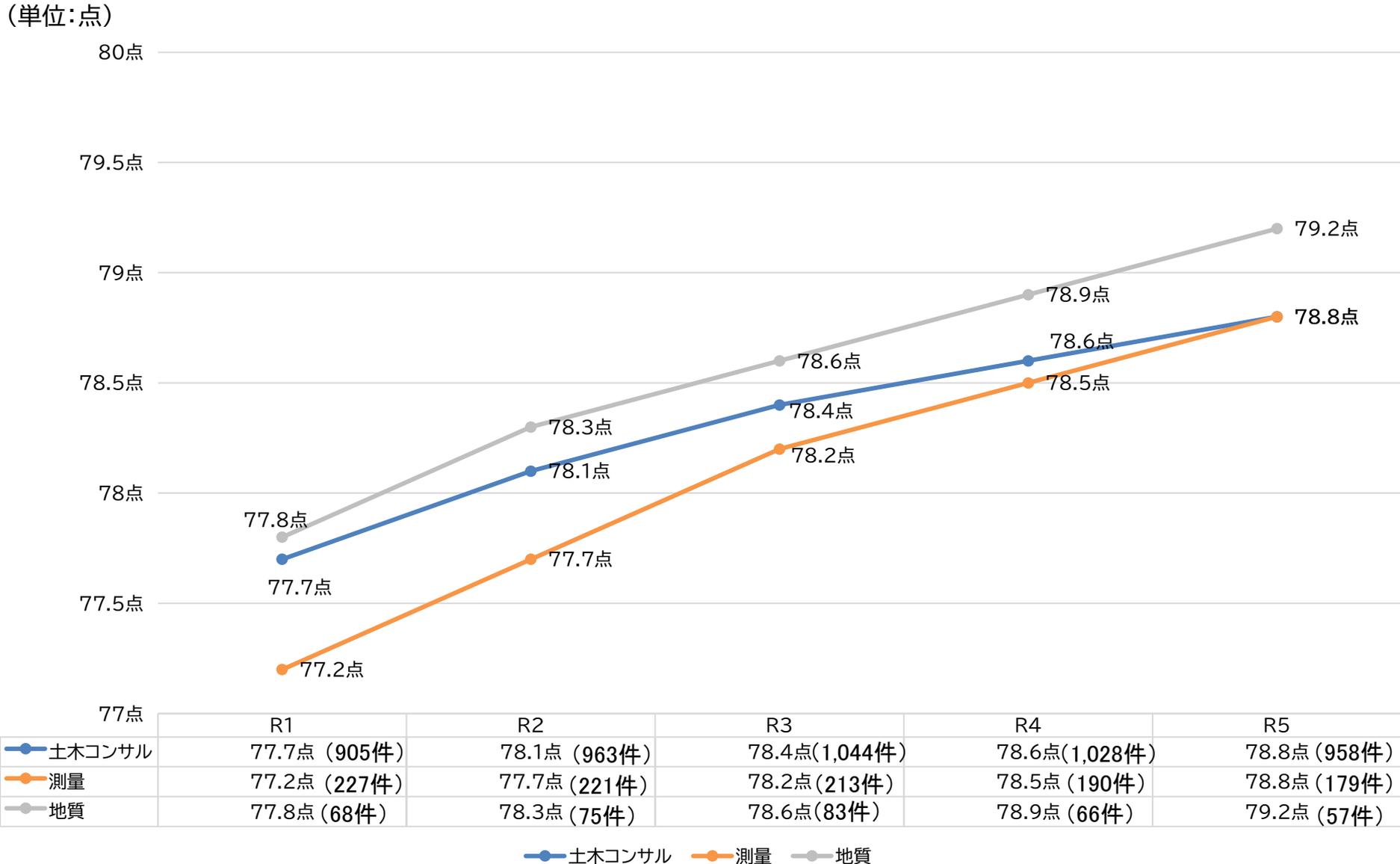
(契約件数)



※入札参加者2者以上の土木コンサル(発注者支援業務除く)、測量、地質調査を対象
 予定価格100万円未満の少額随契及び単価契約を除く。港湾空港を除く。R6年度は、12月末時点

2. ②業務成績評定点(3業種別)平均の推移

○業務成績評定点の3業種別の平均は、年々上昇傾向である。



※予定価格100万円未満の少額随契及び単価契約を除く。港湾空港を除く。R1～R5年度は3月末時点。

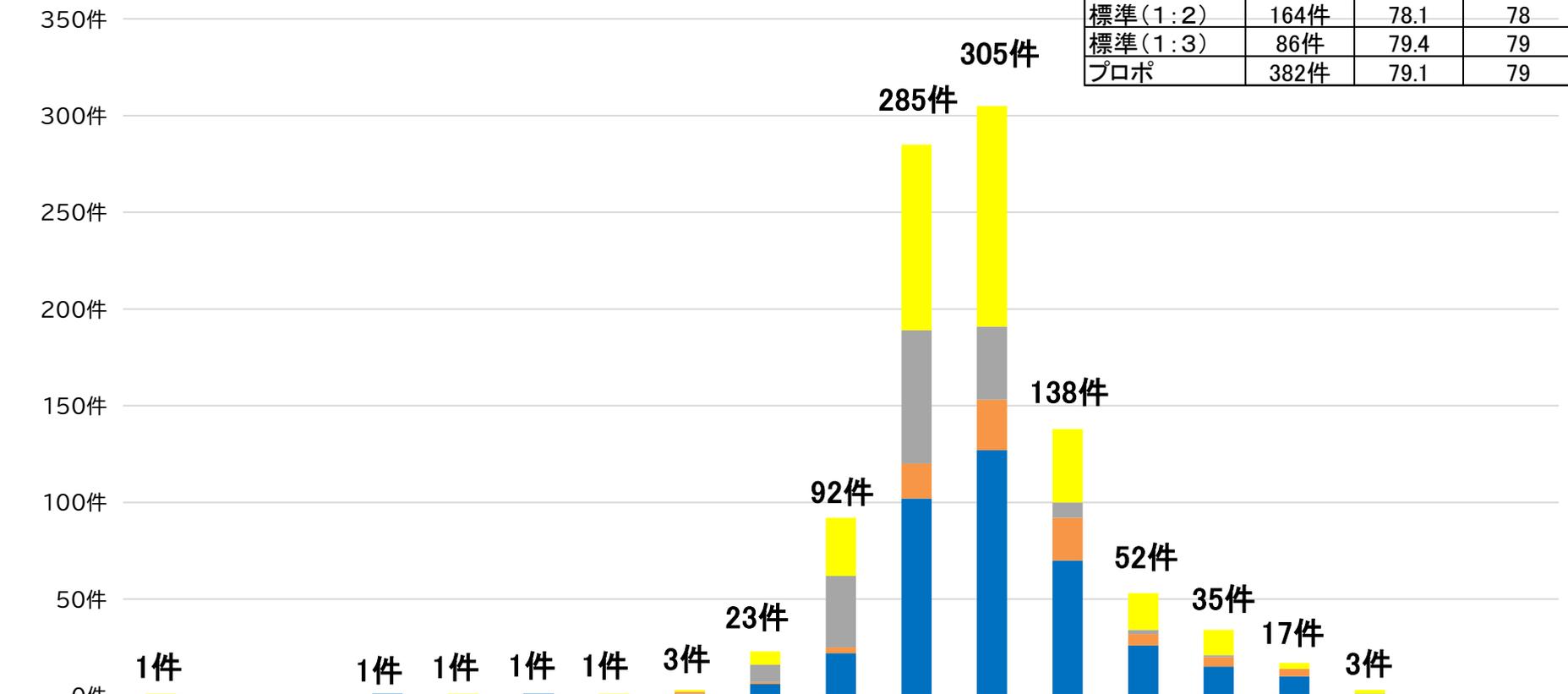
2. ③令和5年度完了業務における業務成績評定点の分布状況(土木コン)

○令和5年度完了業務における業務成績評定点の最頻値は、総合評価落札方式(標準型1:2)は78点、その他の契約方式は79点。

(単位:件)

完了業務件数:958件

契約方式	件数	平均点	最頻値
簡易(1:1)	326件	78.8	79
標準(1:2)	164件	78.1	78
標準(1:3)	86件	79.4	79
プロポ	382件	79.1	79



	68点	69点	70点	71点	72点	73点	74点	75点	76点	77点	78点	79点	80点	81点	82点	83点	84点	85点	86点
■簡易(1:1)	1件	0件	0件	0件	1件	0件	1件	1件	7件	30件	96件	114件	38件	19件	13件	3件	2件	0件	0件
■標準(1:2)	0件	9件	37件	69件	38件	8件	2件	1件	0件	0件	0件	0件							
■標準(1:3)	0件	1件	1件	3件	18件	26件	22件	6件	5件	4件	0件	0件	0件						
■プロポ	0件	0件	0件	1件	0件	1件	0件	1件	6件	22件	102件	127件	70件	26件	15件	10件	1件	0件	0件

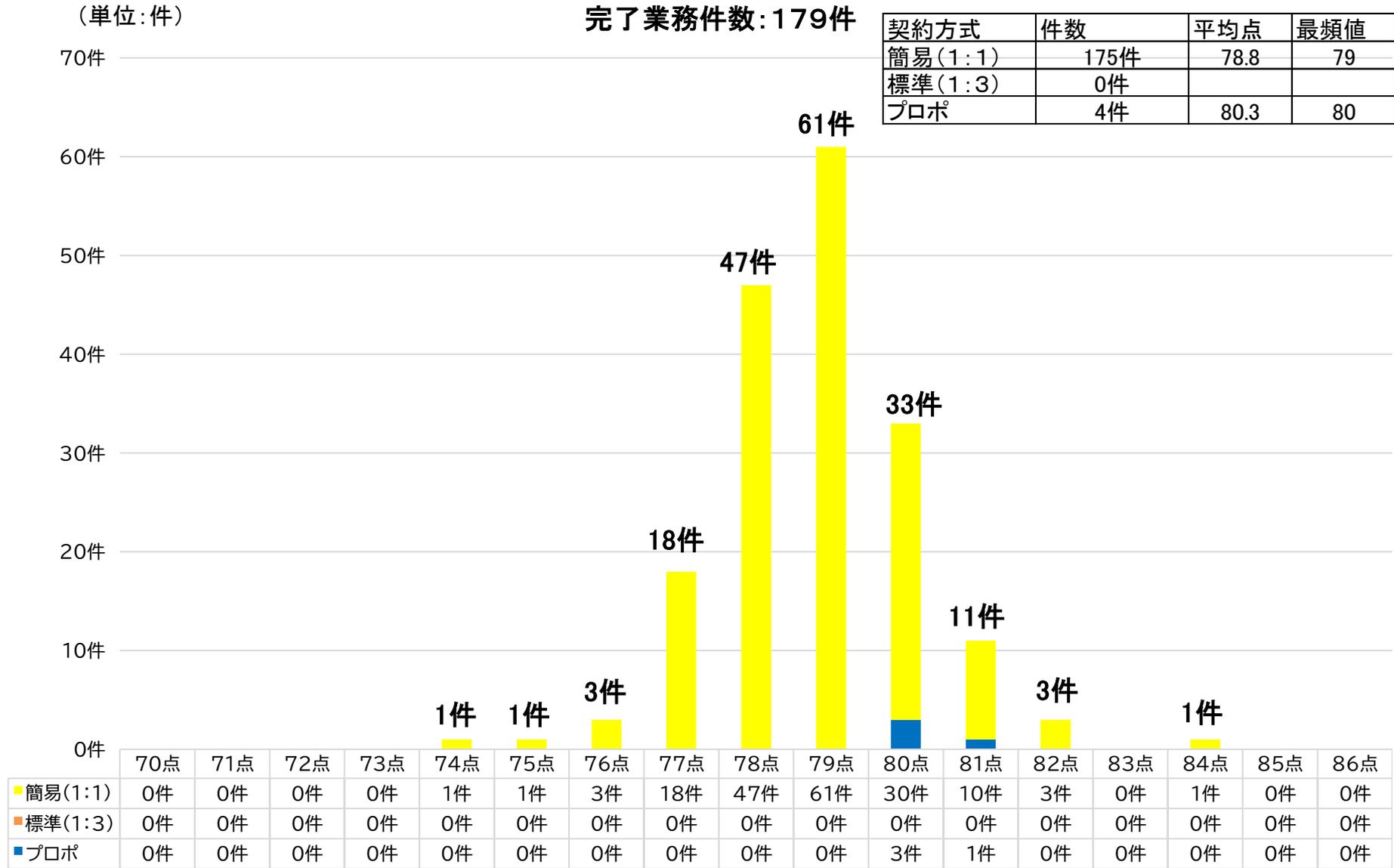
※予定価格100万円未満の少額随契、緊急随意契約及び単価契約を除く。港湾空港を除く。

2. ④令和5年度完了業務における業務成績評定点の分布状況(測量)

○令和5年度完了業務は、簡易型(1:1)の業務が大部分を占めており、最頻値は79点となっている。

完了業務件数:179件

契約方式	件数	平均点	最頻値
簡易(1:1)	175件	78.8	79
標準(1:3)	0件		
プロポ	4件	80.3	80



※予定価格100万円未満の少額随契、緊急随意契約及び単価契約を除く。港湾空港を除く。

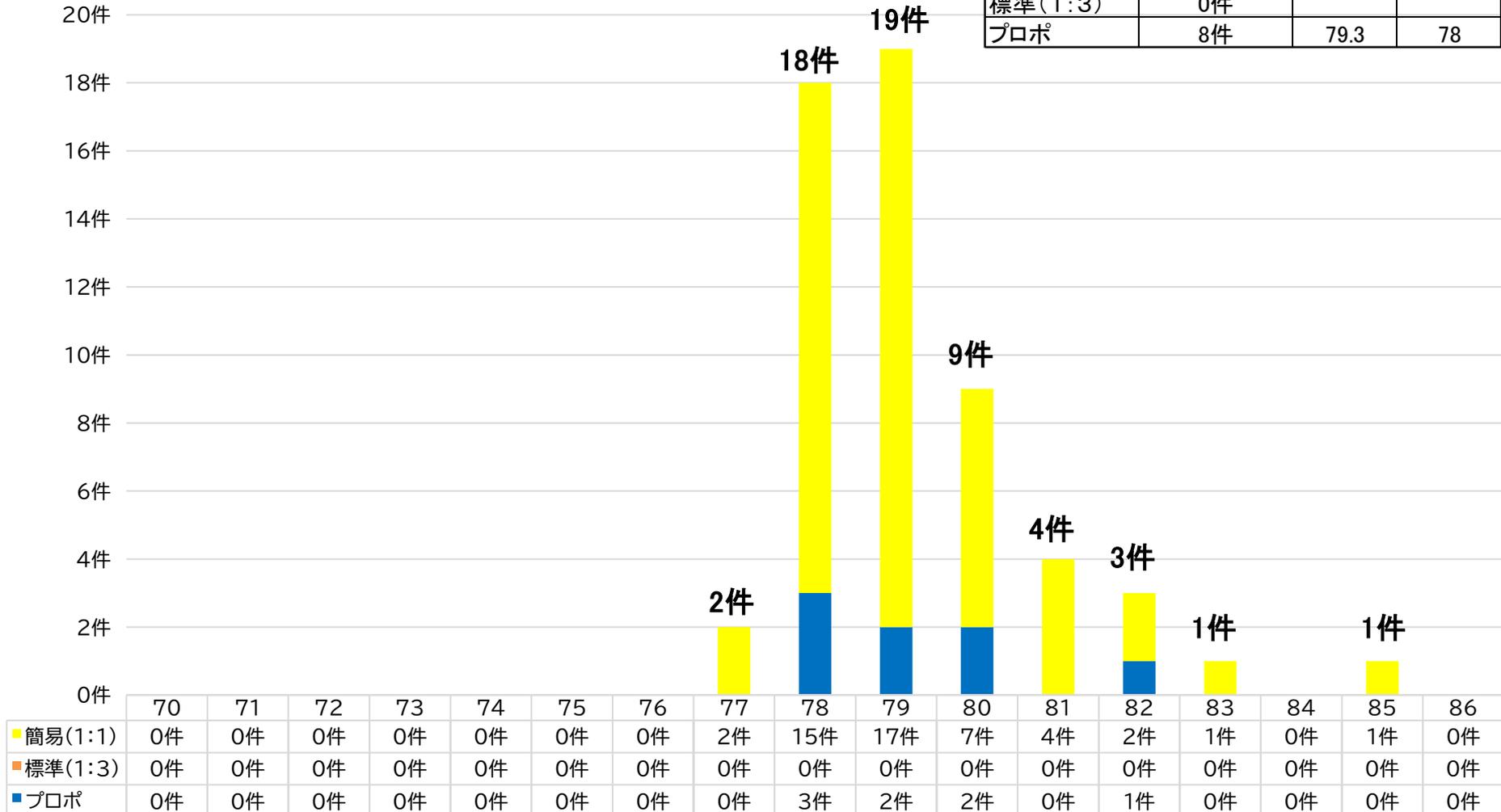
2. ⑤令和5年度完了業務における業務成績評定点の分布状況(地質)

○令和5年度完了業務は、簡易型(1:1)の業務が大部分を占めており、最頻値は79点となっている。

(単位:件)

完了業務件数:57件

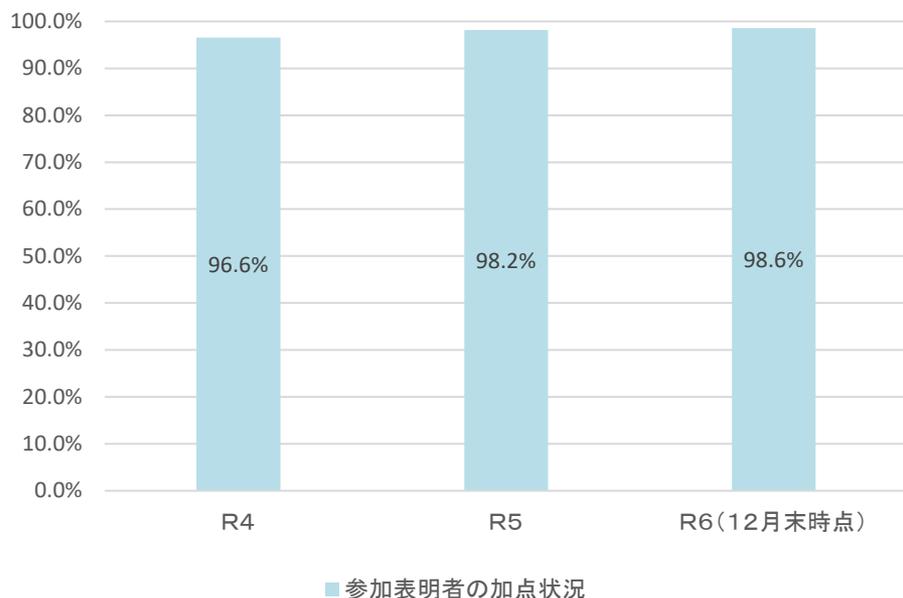
契約方式	件数	平均点	最頻値
簡易(1:1)	49件	79.2	79
標準(1:3)	0件		
プロポ	8件	79.3	78



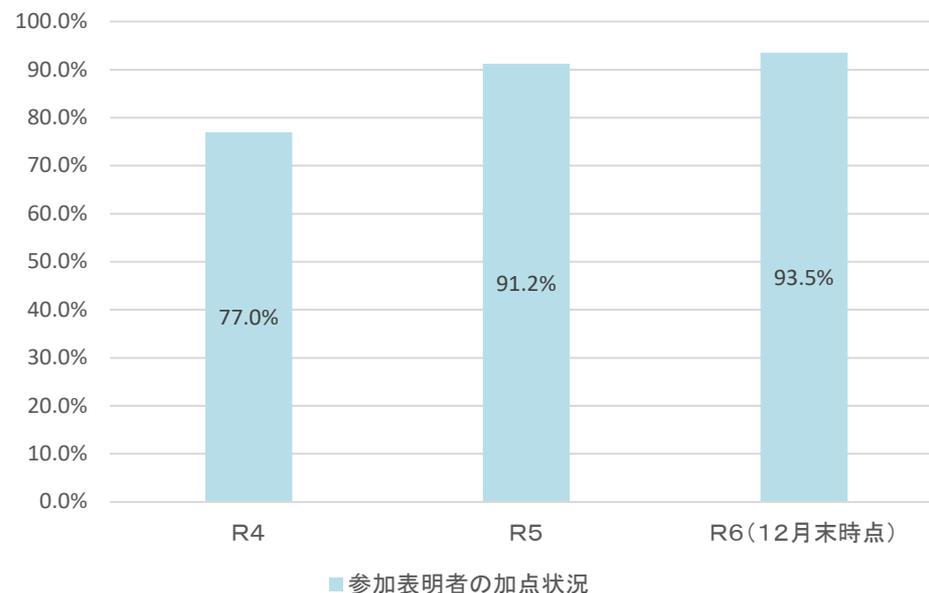
※予定価格100万円未満の少額随契、緊急随意契約及び単価契約を除く。港湾空港を除く。

- 賃金引き上げの加点については、令和4年度から運用を開始。
- 総合評価落札方式(標準型(1:2)・(1:3))については、比較的規模の大きい企業の参加が多いため、運用開始時から高い加点率で推移。
- 総合評価落札方式(簡易型1:1)については、中小企業の参加が多いため、運用開始時は加点率は7割程度であったが、その後増加し、9割程度まで増加。

総合評価落札方式(標準型(1:2)・(1:3))



総合評価落札方式(簡易型1:1)



		R 4	R 5	R 6 (12月末時点)
参加表明者の 加点状況	参加表明者母数	437	1108	930
	⇒うち、加点者数	422	1088	917
	加点率	96.6%	98.2%	98.6%

		R 4	R 5	R 6 (12月末時点)
参加表明者の 加点状況	参加表明者母数	1905	2727	2217
	⇒うち、加点者数	1466	2488	2074
	加点率	77.0%	91.2%	93.5%